

第 7 回光化学オキシダント健康影響評価検討会における主な指摘事項と対応

<第 7 回検討会 資料 2 光化学オキシダントの生殖系への影響及び成長発達への影響に関する定量評価に資する信頼できる疫学研究知見のとりまとめ結果（案）についての主な指摘事項と対応>

	指摘事項	対応
1	資料 2 236 ページ「3.3.1. 呼吸機能及び呼吸器症状への影響に関する海外研究」について、本項目で整理されている内容は「アレルギー性疾患」ではないか。また 237 ページに表 70 の説明として「表 69 に示す研究における自己免疫疾患に関する解析結果のまとめ」とあるが、こちらも「アレルギー性疾患」がより適切ではないか。（道川委員）	「アレルギー性疾患」に修正する。
2	資料 2 245 ページの表 74、Lin <i>et al.</i> (2008b) と Tetreult <i>et al.</i> (2016a) は呼吸器系への影響に関する知見の整理結果でも掲載しているため、重複している旨を記載してはどうか。（道川委員）	重複している旨を記載する。
3	「2.6 発達への影響に関する知見の整理結果」について、本項目で整理している「発達」は「神経発達」に限られているので、具体的に「神経発達」としてはどうか。（島委員）	「神経発達」に修正する。
4	妊娠三半期での曝露との関係性を評価した知見を整理しているが、オゾン濃度は季節によって濃度が大きく異なる。季節を調整因子に含めた研究が大半だとは思いますが、季節を限定して評価した文献はあるか。（島委員）	資料 2 のうち同一文献内で通年と季節を限定した評価を行っている研究は 5 報あり、通年やその他の季節と比較して、曝露期間を春や夏に限定することで O ₃ 曝露と健康影響に関連性がみられるようになる、または関連性が強まることを報告した研究は以下の 2 報であった。

	指摘事項	対応
		<p>Jalaludin <i>et al.</i> (2007)では、妊娠第1 三半期の平均曝露濃度と早産との関連について評価し、対象者全体や秋または冬に受胎した対象者では関連性はみられなかったが、春や夏に受胎した対象者では正の関連性がみられた。</p> <p>Lin <i>et al.</i> (2008b)は、出生から入院までの平均曝露濃度と喘息による入院との関連について評価し、通年での評価では正の関連性がみられたが、温暖期（4～10 月）の曝露濃度に限定すると関連性がより強くなった。</p>
5	<p>低出生体重や妊娠期の高血圧、出生児仮死など、よく見ておかなければならないように思われる論文もいくつかあるように思われるが、この検討会としてここからどのように進めていくのか。（高野委員）</p>	<p>これまでに整理してきた知見全体を見渡したうえで、今後どのように取りまとめていくかについては、白紙の状態での議論は難しいため、まとめ案を作成し提示させていただいたうえで、ご議論をお願いさせていただきたい。</p>
6	<p>死亡との関連性については短期曝露と長期曝露について既に別途とりまとめているため、妊娠期や周産期の曝露と死亡との関連性は別の資料で整理している旨を、短期曝露や長期曝露のとりまとめ資料内にも記載した方がよい。（大森委員）</p>	<p>第5回検討会でとりまとめた死亡に関する各種資料にその旨追記する。</p>

<第7回検討会 資料4 パーオキシアセチルナイトレートの健康影響に関する疫学研究知見及び人志願者実験知見のとりまとめ結果 (案) についての主な指摘事項と対応>

	指摘事項	対応
1	オゾン以外の健康影響の評価には、オゾン以外の物質が光化学オキシダントに占める割合に関する情報が必要と思われるが、現在測定が行われているのはオゾンのみか。(佐藤委員)	全国的に測定が行われているのはオゾンのみである。PANの国内測定事例は、限られている(第3回検討会資料1-2掲載)。

<第7回検討会 その他についての主な指摘事項と対応>

	指摘事項	対応
1	知見を整理した結果として、正の関連性がみられた知見もあれば、負の関連性がみられた知見もあるなど、同じ健康影響でも真逆の報告が存在しているが、今後、全体として取りまとめていくにあたり、どのように評価、考察していくのか。(山野委員)	本検討会においてどこまでをどのように整理するかについて、まとめ案を作成し提示させていただいたうえで、ご議論をお願いさせていただきたい。